

市川市サッカー協会 2010宣言（素案）

■基本理念

『ふれあいあふれ、サッカーを愛する仲間が夢と希望をもたらし共に栄える 市川』

「市川市サッカー協会は、サッカーを通じて地域における青少年の健全育成と一貫指導による競技力向上を図ると共に、人々の健康づくり及び世代を越えた『ふれあい（交流）』の場づくりに取り組むことにより、社会の発展に貢献します。」

■基本目標

（１）サッカーをする空間・場所の確保、充実

サッカー場の新設、既存施設の再整備を推進と、学校開放の充実や、身近な場所・空間の有効活用の推進を図ります。

（２）サッカーを支える人材の育成・確保

指導者やクラブ・団体、スポーツ施設、各種大会、イベントの管理・運営を行う人材など、サッカーを支える人材の確保・育成を図ります。

（３）サッカーをする機会の創出

年齢や個人の趣向、体力にあわせた大会、イベント・教室等の実施にともなう、プログラム開発の検討を行います。

（４）情報の収集・提供

各種別に散らばっている情報の一元化を実施し、web サイト、広報誌などの情報提供の充実を図ります。

（５）競技力の向上

ジュニア選手の発掘・育成、指導者の確保・育成、スポーツ医・科学の推進、スポーツ施設・設備の整備などにより、競技力の向上を図ります。

■事業計画

1. 主旨と目的

- (1) 市川市サッカー協会は基本理念と基本目標のもと、「普及」と「強化」の両輪を柱とし、日本サッカーの基盤確立のため『JFA2005年宣言』と『プレジデント・ミッション』の実現に向けて寄与する。
- (2) サッカーに携わるあらゆる人々が、楽しみ、幸せになれる様、サッカーの普及に努め、男性も女性も、幼児からお年寄りまで、サッカーやスポーツを生涯楽しめる環境を作る。
- (3) 日本サッカー協会及び千葉県サッカー協会とともに、将来を見据えた以下の事業計画を推進していく。

2. 現状の課題

- (1) 小学生年代における、サッカー選手、指導者の育成推進と保護者の負担過多
- (2) 中学生年代における、指導者不足
- (3) 中学卒業後における、サッカー人口の減少
- (4) 高校生年代における、ゲーム出場機会の狭隘化
- (5) 小中高校生年代における、一貫指導体制の未整備
- (6) 千葉県サッカー協会との連携

3. 活動理念

『ふれあいあふれ、サッカーを愛する仲間が夢と希望をもたらし共に栄える 市川』

4. 目指す姿

- (1) 「地域スポーツ文化」の育成と「人づくり」「健康づくり」「まちづくり」
 - ①生涯スポーツとして誰もがサッカーや他のスポーツを楽しめる健康づくりと場づくり
 - ②地域社会全体で小中高校生年代の育成を担う社会教育としての健全育成の場づくり
 - ③地域コミュニティとしての地域交流の場、世界との交流の場づくり
- (2) 「強い市川」・「ワールドクラス選手輩出の市川」
 - ①多くの市川出身選手が、海外ビッグクラブ、Jリーグ等で活躍する姿
 - ②各年代の日本代表に、多くの市川出身選手が選出される姿
 - ③各年代の全国大会に、多くの市川チームが優勝する姿
- (3) 市川市民全員が応援する「千葉・市川のサッカー」

5. 実現に向けての方策

- (1) 千葉県サッカー協会との連携
 - ①千葉県サッカー協会と連携を図り「JFA2005宣言」と「プレジデント・ミッション」の実現に寄与する。
- (2) サッカー場の新設改良
 - ①グラウンドの新設
 - 市川市所有地

- ・塩浜第一公園 1面（人工芝生化）
- ・市民プール隣接地 1面（人工芝生化）

○新たな用地の確保

- ・サッカー場用地の買収・借用 1面（人工芝生化）

○千葉県及び国との共同事業

- ・国分川調節池 1面
- ・江戸川河川敷 1面（増設）

②グラウンドの人工芝生化

○市川市所有地

- ・塩浜スポーツ広場：2面

○千葉県及び国との共同事業

- ・江戸川河川敷グラウンド 1面
- ・江戸川終末処理場上部利用 2面

③公設グラウンドに少年用のゴールと設備の配置

(3) 地域における社会人（シニア含む）を運営母体（事務局）としたクラブの創設

- ①中学・高校生が地域で定期的に活動できる受け皿づくり
- ②市民大会へ全種別（1種から5種）が参加できる機会拡充
- ③全種別の代表者が集まり、活動内容の現状認識と対策について会合開催
- ⑤指導者・事務局等の人材の発掘・クラブ運営への参画
- ⑥財源の確保

(4) 組織的な選手の強化体制。指導者育成体制の構築

- ①小中高校生年代における一貫指導指針の普及と、スペシャルトレーニングによる指導者の共通理解
- ②海外遠征事業（ドイツ・ブラジル等）または国内強化遠征

(5) 技術委員会の指導體制の確立

- ①技術委員会の設立
- ②小中学校年代のトレセンの充実（有望選手の発掘・育成）
- ③4種トレセンスタッフによる少年指導者の育成
- ④メンタルトレーニング講習

(6) 市民参加の健康づくり事業の促進と、普及活動の充実

- ①市民大会開催（1種・5種・シニア）
- ②普及事業の開催
- ③講習会（スポーツ医科学講習会、トレーナー講座、フィジカルトレーニング講座メンタルトレーニング講座）開催
- ④交流事業（ブラジル（3種）北海道・富山・ドイツ（4種））

(7) 協会ホームページの効果的運営と広報活動の充実

- ①インターネット、ホームページによる会員への情報サービス（事業案内、大会結果速報、チーム選手紹介等）
- ②ホームページ運営による、全国、世界との情報交換とPR

(8) 事務局体制、協会組織運営体制の強化

- ①安定財源の確保・・・会員、協賛者の増加
- ②各種規程、細則の充実

平成23年度 重点施策

1. 千葉県サッカー協会との連携

- (1) 千葉県サッカー協会と連携を図り「JFA2005宣言」と「プレジデント・ミッション」の実現に寄与する。

2. 各委員会の検討会を実施

- (1) フレンドリーリーグの方向性について1種委員会・シニア委員会と検討していく。
- (2) 社会人リーグの減少傾向について対策を考える。
- (3) 女子の増加促進についての対策を考える。

3. 市川市へ要望書を提出する

- (1) サッカーグラウンドの新設と人工芝生化の推進。
- (2) 8人制サッカー移行のために国府台に少年用ゴールを2セット配置。
- (3) 校庭開放（市川北高、千葉商大）
- (4) 海外遠征事業（小学生（ドイツ）・中学生（ブラジル）等）の選手・指導者への支援

4. 試合に生きるメンタルトレーニングの講習会

- (1) 指導者を中心にメンタルトレーニングの講習会を実施する。

5. 指導者の研修の場をつくる

- (1) ジュニア年代及び各種年代の指導者養成を行う。
- (2) 各チーム及び種別の指導者交流。

6. 広報活動の充実

- (1) ホームページの活用。
- (2) 各種別の試合結果がタイムリーにわかるような仕組みを構築していく。

7. 安全な環境作り（試合前に安全点検の実施）

- (1) 会場係・審判によるゴール固定（杭で打つか砂袋等を乗せる）の確認。
- (2) 会場責任者による設置のテント等の固定と危険物の除去。
- (3) 会場や選手移動等に関わるリスクマネジメント。
- (4) スポーツ傷害保険への加入の確認。

8. 地元社会人クラブを応援しよう

- (1) 全国・関東大会出場チーム（市川サッカークラブ・市川市役所サッカー一部など）
・ボランティアスタッフの派遣、各種別に多くの仲間が応援できるよう試合日程の呼びかけや選手の紹介。